

## Magnetic Wave Guide の導入(1)

### 1. はじめに

High Fidelity Cables の Magnetic Wave Guide MC-0.5 をテストする機会がありました。

### 2. Magnetic Wave Guide MC-0.5 の仕様と試聴計画

Magnetic Wave Guide MC-0.5 については、下記サイトに情報が 있습니다。

<https://www.bright-tone.com/pages/90.html>

<https://online.stereosound.co.jp/ct/17317033>

<https://www.otaiweb.com/otaiaudio/?p=3586>

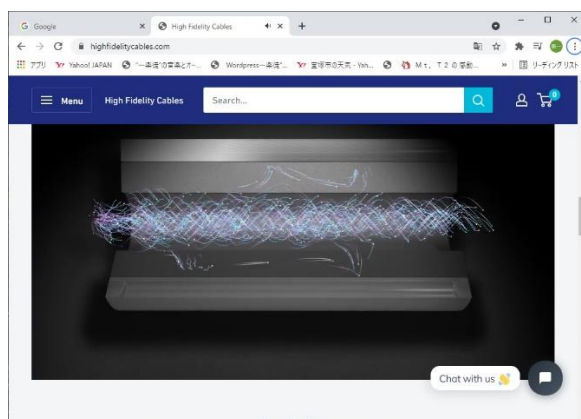


さらに下記のサイトには動画による効果発現の説明があります。

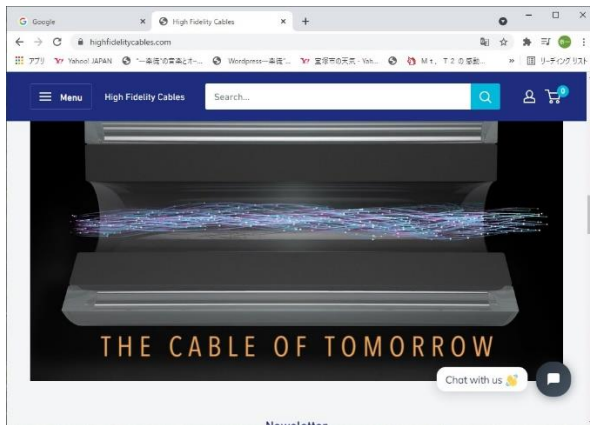
<https://highfidelitycables.com/>

<https://www.youtube.com/watch?v=-ez8EzAFQ-c>

これらによれば下、図のように磁力により電流の流れが、導体の中央に収束して乱れがなくなるといふことのようにです。



通常の状態



## Magnetic Wave Guide の適用

また、電流は電子の流れであり、電子が電子スピンを持っていて、微小な **Magnetic Moment** を持つので、外部磁界の影響を受けるなどの解説もあります。

**Magnetic Wave Guide** にはいろいろなタイプがありますが、今回試聴の機会を得たのは電源タップに差し込んで使用するものです。

このものを、いくつか対象を選んでテストしていきますが、今回は、予備テストとして空きのある、ブランド品でない電源タップに使用してみました。このタップからは 47 研の CD トランスポート 4716 の電源を採っています。



### 3. Magnetic Wave Guide MC-0.5 の試聴結果

上記のタップからは、47 研の CD トランスポート 4716 の電源を採っていますので、4716 による下記の CD の再生をしてみます。

ナクソス・ジャパン KCD-2078

モーツァルト ソナタ第 10 番ハ長調他

稲岡千架

DECCA UCCD9824

バッハ 無伴奏ソナタ・パルティータ

アルトカール・グリュミオー

CD トランスポートの 4716 からは、CCV-5(GPS-777 からクロック入力)と DAC-1 経由で TruPhase に入力します。

Magnetic Wave Guide の効果の発現は、時間がかかるということですので、装着直後、3 時間後、6 時間後、翌日というように時間をおいて聴いていきます。

まず、装着直後ですが、劇的というほどではありませんが、滲みが取れ、音像がきりつと立ってきたように感じられます。

3 時間後では、上記の傾向が進展し、6 時間後では、さらに上記の傾向が進展し、余分な響きが減ってきた印象です。

さらに、翌日、再度聴き直してみましたが、6 時間後の印象とはあまり変わりませんでした。そこで、Magnetic Wave Guide を外してみると、ピアノの音は大雑把になり、ヴァイオリンの音は滲みが戻ります。

以上から、確かに Magnetic Wave Guide の効果はあり、数時間置くと本領を発揮するようです。

#### 4. まとめ

47 研の CD トランスポート 4716 の電源を採っている電源タップに Magnetic Wave Guide MC-0.5 を装着する効果を認めました。

以上